

「藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に関する
パブリックコメントの主な意見について

「藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」について、下記の期間でパブリックコメントを実施いたしました。期間中にいただいた主な意見等については別紙のとおりです。

1、実施したパブリックコメントの実施概要

(1) 募集期間

平成26年12月3日（水）から平成27年1月6日（火）まで

(2) 募集内容

「藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」について

(3) 意見を提出できる方

市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所・事業所を有する個人及び法人、その他利害関係者

(4) 意見提出方法

直接持参、郵送、ファックス、市ホームページ

2、実施結果

(1) 意見提出

意見等 36件 提出者数 28人

(2) 主な意見の意見要旨

別紙のとおり

(3) 意見提出者の内訳

| 提出者 | 人数 | 件数 |
|----------------------|----|----|
| 市内在住 | 10 | 15 |
| 市内在勤 | 0 | 0 |
| 市内在学（高校生） | 16 | 18 |
| 市内に事務所・事業者を有する個人及び法人 | 2 | 3 |
| その他 | 0 | 0 |
| 合計 | 28 | 36 |

(4) 意見提出方法の内訳

| 方法 | 人数 | 件数 |
|--------|----|----|
| 持参 | 0 | 0 |
| 郵送 | 16 | 18 |
| ファックス | 4 | 6 |
| ホームページ | 8 | 12 |
| 合計 | 28 | 36 |

子ども・子育て支援事業計画素案に関するパブリックコメントの主な意見

| No | 項目 | 意見の要旨 |
|----|--------------|---|
| 1 | 保育園について | 待機児童解消のため認可保育所の施設数と定員数を増やしてほしい。 |
| 2 | | 認可外保育施設の認可化が必要である。 |
| 3 | | 公立の保育園が必要である。また、園庭や非常階段は必要である。 |
| 4 | | 小規模保育施設のスタッフ配置について再考の余地がある。 |
| 5 | | 小規模保育施設の卒園児受け入れ体制について、必ず入れる連携施設数の確保が必要である。 |
| 6 | | 待機児童の解消として、事業所内保育施設のスペースを使用し、在住または在勤の方々の子どもを預かるなどの方法が必要である。 |
| 7 | | 計画に居宅訪問型保育の具体的な取り組みを盛り込んでいただきたい。 |
| 8 | | 保育士資格がない職員がいるなど「地域型保育施設」の質に不安がある。 |
| 9 | | 認可保育所の施設数と定員数を増やして欲しい。 |
| 10 | | 認可外施設の認可化支援について、認可基準を下げないことを厳格に守って欲しい。 |
| 11 | | 給食を自園方式とし、「食育」を進めていただきたい。 |
| 12 | 幼児教室について | 延長保育の補助金について、幼児教室にも枠を広げることで、延長保育を実施できる施設が増やるとはではないか。 |
| 13 | 児童クラブについて | 空き教室を利用し学童保育を実施し、その分の施設費を人件費にあててはどうか。 |
| 14 | | 5年以内に26カ所の設置が必要であり、現実的な整備計画を策定し示してほしい。 |
| 15 | | 質の高い指導員の確保が必要であり、一生の仕事として継続できる賃金が必要である。 |
| 16 | 困難を有する若者について | 声かけ運動を行うとともに、学校への呼びかけを強化してほしい。 |
| 17 | | 相談の場を提供するのはいいことだが、相談をしない人に対してどうすべきか考える必要がある。 |
| 18 | | 一人一人どのような状況なのかを把握するのは具体的にどのようにやるのか。 |
| 19 | | 職業体験をもっと実施してほしい。 |
| 20 | 児童虐待について | 相談機関に言える環境整備をしてほしい。 |
| 21 | | 母親の精神面などをケアする必要がある。 |
| 22 | | 子育てと仕事の両立がしやすい環境と地域交流を増やすことにより、児童虐待の防止ができるのではないか。 |

| No | 項目 | 意見の要旨 |
|----|-----------------|--|
| 23 | ひとり親支援について | 子どもの精神的なケアができる対策が必要である。 |
| 24 | 統計について | 現在までの保育所定員数の推移及び毎年の保育所申込者数と定員数との差を示してほしい。 |
| 25 | 子育てと仕事の両立について | 子育てと仕事を両立できる環境整備が必要である。 |
| 26 | 子育てしやすい生活環境について | 子どもが犯罪に巻き込まれないように、子どもに対する説明のみでなく親への説明会を実施し、家庭での防犯意識付けが必要である。 |